

市内の交通を快適に SMARTプランを知っていますか？

SMARTプランとは？

「SMARTな交通体系の構築による集約・ネットワーク型都市構造の実現」を目指して作られた計画

ここまでご紹介してきたコミュニティバスや乗合タクシー、自転車専用レーンなどの整備に関する取組は、「さいたま市総合都市交通体系マスタープラン基本計画(SMARTプラン)」に基づいて進めています。SMARTとは、将来の目標とすべきキーワードや今後取り組んでいきたい行政の意志を表した言葉の頭文字を並べたものです。プランには、下記の4つの基本方針を掲げています。

- S** Sustainable (持続可能)・Seamless (継ぎ目のない)・Strategic (戦略的)
- M** Multi-Modal (多様な交通手段)・Mobility (移動しやすい)・Modal shift (交通手段の転換)
- A** Accessibility (アクセスしやすさ)・Amenity (快適な)・Attractive (魅力的な)
- R** Reliability (信頼性が高い)・Rolling (定期的に見直される)・Reality (実現可能な)
- T** Thoughtful (思いやりのある)・Together (行政・事業者・市民が一体となった)・Technology (新たな技術を活用した)

交通施策実現に向けた4つの「基本方針」

1 集約・ネットワーク型都市構造を支えるアクセス性の高い交通体系を構築します。

例・連携強化に資する道路の整備／コミュニティバス等の導入・維持／自転車走行環境の整備etc.

3 回遊性・快適性の高い魅力的な交通体系を構築します。

例・都心の外周道路の整備／駅周辺の歩行者専用空間の確保／コミュニティサイクルの利用促進etc.

2 東日本の中枢都市として交流を支える広域交通体系を構築します。

例・鉄道ネットワークの有効活用／空港アクセスの強化／長距離バスターミナルの整備etc.

4 安全・安心で持続可能な市街地形成を支える交通体系を構築します。

例・安全な歩行空間の創出／自転車通行レーンや遊歩道の整備／自転車の通行マナー向上のための教育・啓発活動etc.

→詳細については交通政策課(☎048-829-1053 / FAX 048-829-1979)まで。

大宮駅グランドセントラルステーション化構想を策定しました

「大宮駅グランドセントラルステーション化構想」は、東日本の玄関口として、大宮駅の駅前広場を中心とした交通基盤の整備・駅機能の高度化・隣接する街区のまちづくりを三位一体で進める取組。交通分野の整備は「SMARTプラン」に沿って進められます。

東京圏北部の交通の要衝として、その重要性はますます高まっていますが、乗換

→詳細については東日本交流拠点整備課(☎048-646-3281 / FAX 048-646-3292)まで。

利便性の低さや、駅前に憩いの場が少ないなどの課題も。そうした現状を踏まえ、構想では新たに駅の東西を結び、駅を中心とした口の字型の歩行者ネットワークを整備。回遊性を高めると同時に、災害時の混雑緩和を図ります。また、駅前にはイベントができる交流広場の新設や駅機能では混雑が激しいホームの拡幅・改良、ホームドアの設置も進めています。



(地図データ:google)

自転車と車が譲り合える 自転車道路へ!

シェアザロードの精神を育む

コミュニティバス、乗合タクシーと並んで身近な交通手段と言えば自転車。さいたま市では「歩行者、自転車、自動車がお互いの立場を思いやる気持ち」というシェアザロードの精神を推進しています。今回は自転車利用に関するルールについても紹介します。

譲り合って走れる自転車通行環境を整備中

自転車専用通行帯



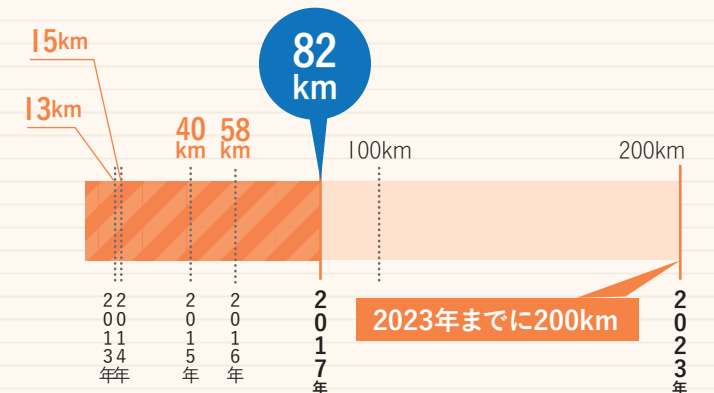
車道内に設けられた自転車専用レーン。道路上に青色で塗装され、「自転車専用」と標示しています。ここは自転車しか通行することができません。

車道混在



専用通行帯を設置できない狭い道路では、自転車が車道を通行することを理解してもらうため、矢羽根マークを設置。他の車両も通行可能なので、注意が必要です。

現在、さいたま市内では82kmの自転車通行環境を整備していますが、今後、2023年までに200kmを整備予定。全国的に見ても早いスピードで整備が進んでいます。



「自転車安全利用五則」って知ってる？

自転車で安全に道路を走るために知っておきたい5つの約束。ルールを守り、譲り合って安全に走りましょう。

- 1 自転車は車道が原則、歩道は例外**
- 2 歩道は歩行者優先で車道寄りを徐行**
- 3 車道は左側を走行**
- 4 安全ルールを守る**
- 5 子どもはヘルメットを着用**

→詳細については自転車まちづくり推進課(☎048-829-1398 / FAX 048-829-1979)まで。

通勤時間も半分に！ 快適自転車通勤



自転車まちづくり推進課 勝山 修平主任

自転車通勤を始めて、今年で7年目になります。健康的に痩せることを目的として始めましたが、通勤時間の大幅な短縮にもつながりました。以前はバスを利用して、片道1時間ほどかかっていたのが、自転車だと約30分。渋滞やラッシュを気にする必要がなく、帰宅の時間が早くなり、家族と一緒に過ごす時間が増えました。

自転車で走る際に私が意識しているのは、「車とコミュニケーションを取る」ことです。少し後ろを振り返って合図を送れば、ドライバー側にも車を意識して走っていることが伝わりお互いの安心につながります。無理に追い越したりせず、相手に注意を払うことがとても大切だと感じています。

皆さんも安全運転を心掛け、早く快適な自転車通勤を始めてみませんか？